# 若者が魅力を感じる元気な街づくりを目指して

NCN討論番組

百客良論

## 鳥取県の高規格幹線道路整備

**県東西部、岡山県北部から県中部倉吉市まで30~40分圏域となる。これらの利便性をチャンスに活かせるか。**

鳥取県の高規格幹線道路ネットワーク

○インターチェンジ　●ジャンクション

出席者

- 岡村　俊作氏（鳥取県中部総合事務所長）
- 藤井　武親氏（若者が魅力を感じる街づくり懇話会代表世話人）
- 岩世　麗氏（「tetote」編集部編集長）
- ■コメンテーター　新日本海新聞社中部本社編集部デスク　吉浦能夫
- ■司会　NCN編成制作部チーフマネージャー　宮長一郎

地域の問題や課題を話し合い、対応策を探るNCNの討論番組「百客良論」。今回のテーマは「若者が魅力を感じる街づくり」。大都市圏を除く日本の多くの人口過疎地域においては、もっとも厳しい課題だ。鳥取県の中でも人口減少率が一番高い県中部。行政、民間、女性の視点から、若者にとって魅力ある街づくりの条件、取り組みなどを語ってもらった。（NCNでの放映は21日と28日のいずれも午後8時から約1時間）

## 若者が定住する方策は　人口減少の実態は

### ■現状と課題

―人口減少率を県の統計上の数字で教えて下さい。

岡村　ここ10年の中部の傾向は、人口が1千人近く減少しています。21年の人口減少は900人近く、岡山を分析すると一番大きなものは自然減で、ここ10年で出生数が約10%低下しています。2番目が若者の県外流出、特に、20代前半が顕著です。

―岩世さん、創刊された雑誌「TOTTORI　ism（てってっとーり）」の狙いは何でしょう。

岩世　基本的には、地元の20代から30代の女性をターゲットに、いかに中部での生活スタイルを作りあげるかを、いろんな視点から再発見し、情報発信したいと考えています。

―藤井さん、街づくり懇話会の設立経緯と目標するものを教えて下さい。

藤井　老人施設を運営しているのですが、お年寄りが生き生きと楽しく最後まで暮らせる環境が重要と感じます。若者が地元に定住し、三世代が家庭にいて、現役世代は後の世代を見て過ごす、そういう大家族制が理想ではないかと考え、懇話会を設立しようと思いました。

藤井　武親氏

## 大家族制が理想では

岡村　俊作氏

## 地域全体で子育てを

岩世　麗氏

## アドバイザーが不可欠

### ■若者が及ぼす影響力と地域づくり

―若者がいないと地域にとって何が良くないのでしょう。

吉浦　子どもを授ける親の立場とすれば、突発的な病気に対応してくれるサービスなど、安心できる環境が必要です。

岡村　地域に及ぼす影響は大きく三つあります。一つは経済面で、労働力の減少。特に中部は、労働集約的な産業構造（コストに占める労働費の割合が高い産業）なので、地域経済に大きなダメージとなります。

二つ目が地域社会の活力の減退。スポーツや文化を楽しんだり、お祭りと盛んだり、ボランティアなどの社会活動への参加が減少し、地域力全体を引き下げます。三つ目が、次代を担う子どもの減少です。

―若者定住を考えるとき、まず前提になるのは雇用です。

藤井　女性だけでなく若者は楽しく魅力ある仕事でないと辞めてしまいます。自分に合った就職口がないと動かない傾向もあります。

岡村　最近の県内企業は新卒者より中途採用者、大卒者より高卒者を優先しています。

岩世　現在、県外で就職している人でも経験を生かす就職口が見つかれば、鳥取に定住したいと考えている人はたくさんいると思います。

―雇用以外の街の魅力も必要ではないでしょうか。

岩世　Uターンして幼なじみと話し、同窓と元気をもらいました。ポジティブに考えれば、狭い地域だからこそ仲間がつくりやすい。中部の大事な財産だと思います。

―若者定住には、前提となる女性の働く場所や子育て環境の整備も欠かせません。

藤井　今年の4月から倉吉シティホテルを経営していますが、町の公民館のような、若者が気軽に集まれる施設にしたいと考えています。実際に市町村でも、土日に延長保育に取り組んでいます。

―中部には若者文化を育て、若者が集まる場所が少ないと感じます。

藤井　今年の4月から倉吉シティホテルを経営していますが、町の公民館のような、若者が気軽に集まれる施設にしたいと考えています。"若者が気軽に往来し、いろんな仕掛の活動ができたら面白いと思います。

### ■若者が街づくりに参画

―街づくりへの若者の参画には何が必要でしょう。

岩世　若い人が地元のために経験を生かしたい、チャレンジしたい時、バックアップしてくれるアドバイザーが不可欠だと思います。その点、中部には世代間の連携と交流の場があり、物の踏み上りも元気だと感じます。

岡村　山陰道なら高速道の整備が着々と進み、あと10年もすれば、中部は鳥取も米子も約30、40分で行けるようになり、岡山県北部をふくめて3エリアの「ヘそ」になるでしょう。成熟社会になれば、都会にはない文化的な豊かさが、むしろ評価されます。地域の良さを生かし、若者の活力と女性の感性をキーワードに取り組めば、中部は魅力のある地域に変化すると思います。

―若者に魅力ある街とはどんな街でしょう。

藤井　IT化と交通網の整備が、中部にとって大きなチャンスになると思います。これからは、地方にいても十二分に世界と通信しながら仕事ができるようになります。そうなれば、中部の豊かな自然やおいしい空気、食べ物は大きな魅力が生まれます。

岩世　ボランティア活動が盛んで、子どもやお年寄りも明るく刺激し合い、成長できるのも中部の良い点だと思います。

吉浦　生活の基盤である中部の街を、もう一度みんなで見つめ直し、地域づくりを進めれば、若者に魅力のある街になっていくのかなと思います。